



「淀川を繋ぐ 東海道五十七次フェスタ in 枚方」への出展について

亀山市は、東海道57次の宿場や街道に残る歴史・文化・食などの地域資源を活用し、東海道への誘客等を推進するため、来月3日(土)、大阪府枚方市で開催される「淀川を繋ぐ 東海道五十七次フェスタ in 枚方」に出展します。

本市は、東海道沿線自治体から構成される「東海道57次区市町連携協議会」に参画し、東海道や亀山3宿（亀山・関・坂下）の魅力発信を行っているところで、そのご縁から今回出展する運びとなりました。

このイベントは、淀川水運で結ばれた4つの宿場町（伏見・淀・枚方・守口）と高麗橋の絆を核に、東海道57次の歴史的価値の認知度向上を目指すもので、枚方信用金庫ほかの主催で行われるものです。当日は、地元有志が手掛けた楽曲「東海道五十七次～逆打ち行脚～」を活用した盆踊りのほか、選りすぐりの地元産品が一堂に会する物産展が開かれます。

本市は、物販・観光PRブースを出展し、城下町の風情を残す「亀山宿」、重要伝統的建造物群保存地区である「関宿」、そして鈴鹿峠の險所を控えた「坂下宿」という個性豊かな本市の3つの宿場の魅力を紹介するとともに、本市が誇る「亀山ブランド認定品」の販売を実施します。関西圏の皆様へ、本市の魅力をアピールする機会となると期待するものです。

今後も、東海道57次の広域連携により本市の魅力を発信することで、新たな角度からの誘客や広域観光の振興、周遊促進に取り組んでいきます。

イベントの概要については、別添チラシをご覧ください。